



Alcoholics Anonymous

AA日本ニューズレター

No.188

■ 2018年4月からの常任理事会体制

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

2015年1月からA類常任理事を務めていただいている後藤先生が、2018年3月をもって辞任されることになりました。下にご挨拶を掲載いたしましたので、どうぞ一読ください。また、B類常任理事/増田氏も同じく2018年3月をもって任期を満了されます。

一方、新たにB類常任理事として第23回評議会で大迫氏、(西村氏)、村川氏(あいえお順)が選任され、常任理事会の推薦でWSM評議員となる星氏と共に、新たに3名が常任理事会に加わります。西村氏は2015年9月の欠員補充選挙からB類常任理事を務め、2018年3月をもって任期を満了されますが、改めての選任※です。次号はこれら皆さんからのご挨拶を掲載する予定です。

※『AA日本常任理事会準則』「欠員の補充」: 補充により選ばれた常任理事の任期は、前任理事が残した任期とし、再選を妨げない。

4月からの常任理事会は合計12名、久しぶりの大人数です。どうぞよろしく願いいたします。なお、後藤先生の後任については、4月の常任理事会で話し合われる予定です。

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

■ 辞任にあたって

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

A類常任理事 後藤 恵

都立松沢病院/東京医科歯科大学医学部/成増厚生病院

AAの40周年記念大会で、少しでもメンバーの皆様に御恩返しをしたいと申し上げておきながら、お役に立てずに申し訳なく思っております。当初の予定より、いろいろな仕事を抱えてしまって、年間11日の常任理事会、評議会になかなか出席できませんでしたので、やめさせていただくほうが良いと判断いたしました。いくら情熱や主義主張があっても、常任理事の皆様とコミュニケーションもとれない現状では、責任のある立場はふさわしくないと考えました。

常任理事でなくなっても、私がAAの応援団の一員であることには変わりはありません。AAという共同体に依拠して患者様の回復を支えていく仕事を続けていく以上、今後とも皆さまとのお縁は深くこそなれ浅くなることはありません。どうぞ今後とも末永くお付き合いくださいようお願い申し上げます。

■ 第23回評議会が開催されました。

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

日時: 2018年2月3日(土)13時~5日(月)16時

場所: 幕張セミナーハウス

1989年、評議会の前身である「AA日本ゼネラル・サービス・ミーティング」の第1回が開催され、1995年の第7回まで継続しました。その翌年には、第1回のAA日本評議会が開催され、今年で23回目。1989年から数えると30回、関係者の皆様の大きなお力添えによって、また、AAグループ皆様の献金と献身によって、今年もまた、無事に開催できましたこと、心よりお礼申し上げます。

さて、第23回評議会終了から次の評議会終了まで各分科会の議長をしていただいている第1分科会(議事・企画)議長/荒井評議員、第2分科会(広報・病設・矯正)議長/野田評議員、第3分科会(出版・財務・WSM)議長/武田評議員の3名から評議会の感想を投稿していただきました。それぞれに評議会を楽しんでいただけた様子に感謝いたします。どうぞ一読ください。

また、最終頁には178号にも掲載しました「AAの三つのレガシー=三角形」を再掲載いたします。コピーしていただいても構いません。どうぞご活用ください。

何時しか『仲間の熱い想いに』変わっていました。

* - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - * - + - *

第1分科会議長 荒井

『……厚い…重い…』小さなポストからはみ出した郵便物を引き出すと、AAと分かるいつもの茶封筒が自分の掴んだ右腕にずしりときました。これが評議会の資料、、、全てが

仲間によって作られた資料、早速封筒を開けページをめくると、メンバーの良心が詰まった議題、常任理事会活動報告、2018年予算と、どこのページをめくっても新鮮な香りが私の鼻を刺激します。評議会の予定がビッシリと書き込まれた予定表を見て、『これを読み込んで評議会にのぞむのか？』そして分科会の議題を読み進めるうち、この議題を纏めるのにどれだけの時間を割いたのだろうか？ふと提案者のAAに対する姿勢を垣間見る思いがして、真剣に読んでいる自分の姿を発見しました。いよいよ評議会の当日です。少し早めに会場に到着し、全体会議室へ通じる鉄の扉を開くと、既に会議室の準備はなされており、各テーブルの上には名前が入ったカードスタンドが、お行儀よく並んでいます。自分の名前がテーブルの上に凛として載っているのを見て、改めて仲間感謝したいと思う気持ちが湧きました。間違いなく関東甲信越前期評議員と銘打ったタイトルの横に、自分の名前が添えてあります。23回を数える評議会に、自分がいるのだと改めて感じることの出来た瞬間です。会場正面にある「ステップ・伝統・サービス」の文字を読み、今年一年はこのテーマをいつも頭に留めて、グループ、地区、地域へ参加する、そして、今回決まった来年の評議会のテーマ「地域を超えて助け合おう…」に繋げて行くことを、今ここに改めて感じています。全てから逃げた自分を、新しい責任の持てる自分に変えてくれたAAを思うと、自分の経験をしっかり手渡して行くことが、どれだけ大切な事なのかを評議会を通し教えて頂いた様に思います。小さなポストからはみ出た封筒を見た時に『……厚い……重い……』と感じた自分が、評議会を終えてみると、何時しか『仲間の熱い想いに』変わっていました。これからの大切な2年間、評議員として何を考えて、どの様にして自分に与えられたサービスの中に、仲間の熱い良心を現わせるのか、現わすのか、、、。そう、そして時には多くの経験を経た仲間から経験を貰い、またある時は新しい仲間の意見を伺い、そしてAAの原理に育てられた素直な気持ちを通し、この先のAA全体サービスに臨むことが役目なのだと知りました。最後に、大きなチャンスを与えてくれたアルコールクス・アノニマスに感謝し、終わりたいと思います。

それは皆が「AAを良くして行こう」と言う一つの思い

-+---+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-*--+-

第2分科会議長 野田

冬のラウンドアップを終え一息つくと、あー評議会まであと一カ月だと実感しました。

そんな中、20日を過ぎた頃インフルエンザを患い、高熱と咳で寝込んでしまい翌週に入っても症状が続き2月3日を迎えてしまいました。期待と不安を抱きながら早朝に自宅を出て、幕張セミナーハウスへ。

昨年、代理の立場で参加しているので雰囲気は掴んでいましたが、やはり今年は本番なので緊張感が全然違いました。

私のサービスはグループの代議員に始まり、地区委員、地域委員長、評議員代理、評議員に選出されました。いつの間にかこの役割に運ばれて来た感じです。正直言いましたこの間、サービスマニュアル、伝統、概念などについて勉強して来たかと言えばそうではありませんでした。

会場には各地域の評議員、常任理事、事務局の方々。初対面の方、馴染みの方、大勢の仲間に緊張していました。

評議会は多くの議題を審議し決議して行きます。その前に3つの分科会ごとに前もって審議し決議して行きます。その副議長に前期評議員から選出すると言う事でした。

私はこの役なら小人数での会議なので引き受けました。そうでないと全体会議で議長を務めなければならないと聞いたからです。

私は第二分科会でした。その中には愛知地区からの議題も有り理解し易いかな？と思ったからです。評議会でも多くの言葉を学びました。動議、アピール権、議場閉鎖など。

一つ、一つの議題に皆、真剣に考え、意見を述べ決議して行く。たとえ反対意見が一人でもアピール権で考えを述べる事ができる。それは皆が「AAを良くして行こう」と言う一つの思い、一体性を強く感じました。

あつと言う間の三日間で、今まで体験した事のない三日間が過ぎ、その後地域委員会、地区委員会での報告を致しました。

議題の報告は勿論ですが、味わった体験、感動も伝えました。それは一人でも多くの仲間がサービスの素晴らしさ、楽しさを味わって欲しい思いからです。今までの私は「木を見て森を見ず」そんな自分だったような思いです。

かつて暗闇の中で酒を片手に一人でもがいていた私が、こんな経験をさせて頂く事が不思議です。「たかが酒、されど酒」AAって素晴らしい！この思いを地域において実践して行ければと思っています。

誰かがどこかで助けを求めたら、

必ずそこにAAの愛の手があるようにしたい

キラキラ、キラリン！——意欲表明に代えて

-+--+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-

第3分科会議長 武田

初日の自己紹介で言った、①整えていただいた最高の会議環境の中で、②どこか熱暑の国のおじさんのする、手の振りに応じて、空中からキラキラと光り輝く粉のようなものが突如として現れるような出来事が、起こるのだろうか——そんなワクワクとした思いが、今にもあふれ出そうな3日間の始まりでした。

まず、当日の運営は単にその目に見える一部でしかなく、実際には評議会開催前後の、目に見えないたくさんのいろいろな場面での心づかいであり行動である支えあいの結晶が、キラリと光りました。ボランティアのみなさま、スタッフの方々、オブザーバーの一人おひとりに感謝します。

次に、分科会。出版・財務・WSM 関連議案を審議する第3分科会は、次のことを意識に上らせてくれました。すなわち、「地域から選出された評議員の一人ひとは、AA 日本全体の評議員の一人なのだ」ということです。各地域や地区、グループ、個人そして常任理事会から提出された今日の前にある議案に、全体の評議員として全力集中することが、地域の要望、期待に応えることにならう。すべては、全体の福利の下、今苦しんでいるアルコールクに手を差し伸べるといふ本来の目的に集約されるのだという自覚が、またキラリと光りました。

さらに、全体会。それまでの生育や経歴、AAメンバーとしての経験も期間も異なる評議員が、次から次へと質疑に立つ姿は、圧巻でした。質問のための質問や、自分の「正しさ」を求めするために議論をゴリ押しするのは違う、アルコールクがよりよく生きる未来を自分たちの手で作り出していこう——そんな伝統3にも通じる願いのようなものが、また一つキラリ。

最後に、希望。「世界の国々の中では数少ない、母国語によるミーティングが開かれている日本」のAAが、どの一人も「遠くの目標には目も向けられずに、近くの欲求にばかり意識が集中してしまうアルコールク」であるにもかかわらず——産声を上げて 50 年にして、アジアで初めてのワールド・サービス・ミーティング開催国に立候補しよう！ キラ、キラ、キラリン。大喝采のうちにもたらせられたこの決議勧告は、一つの手がかりです。AA メンバーと一緒に自己確認をする機会であり、新たに私たちの共同体を知ってもらうきっかけであり、目標に向かって一步一步、自分の小さな「今

日一日」を歩みしめてゆくまとない契機にできるのです。一体性・サービス・回復、経験・力・希望。

いつものホテルの一室が、評議会の良心という場の力によって、特別な空間を出現させました。そこにたくさんのまばゆいキラキラが、音もなく出現したのです。

■『アルコールクス・アノニマス 成年に達する』を、

-+--+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-+-*-

JSO 新井

『アルコールクス・アノニマス 成年に達する』は、引用される機会がとても多い書籍です。私自身、持ち歩いたり自宅に置いたり。JSOの机上にも1990年発行の古いハードカバーが置いてあります。この本は以前職員をされていた野崎氏から譲り受けたもので、たくさんの付箋が貼られています。

これらの付箋から、例えば”ワシントン”と書かれている付箋を開けると、「一世紀前にボルチモアのアルコールクの間で始まったワシントン協会は・・・」と引用できます。数ページ前から伝統10の経験が書かれており、その一節です。

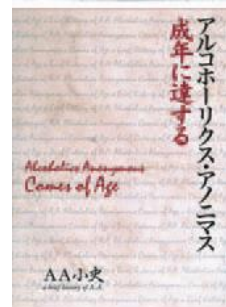
また、ピンク色で目立つ付箋を開けると、新聞記事と「これほど短い言葉の中に、これほど多くのAAの精神が詰め込まれているのを、私たちは見たことがなかった」と引用できます。この新聞記事は平安の祈りで、AAに浸透していった経緯が書かれています。

もちろん”6/10”と書かれた付箋もあります。文章は現在出版されている書籍と若干異なるものの、何かにつけ重宝しています。

最近になって、『12のステップと12の伝統』のステップ6、冒頭にある「これは大人と子供を分けるステップです」とおっしゃった聖職者が、どうやら『成年に達する』中ほどの写真、ファーザー・エドらしいという情報を得ました。さっそく付箋に”ステップ6”と書いて貼り付けました。

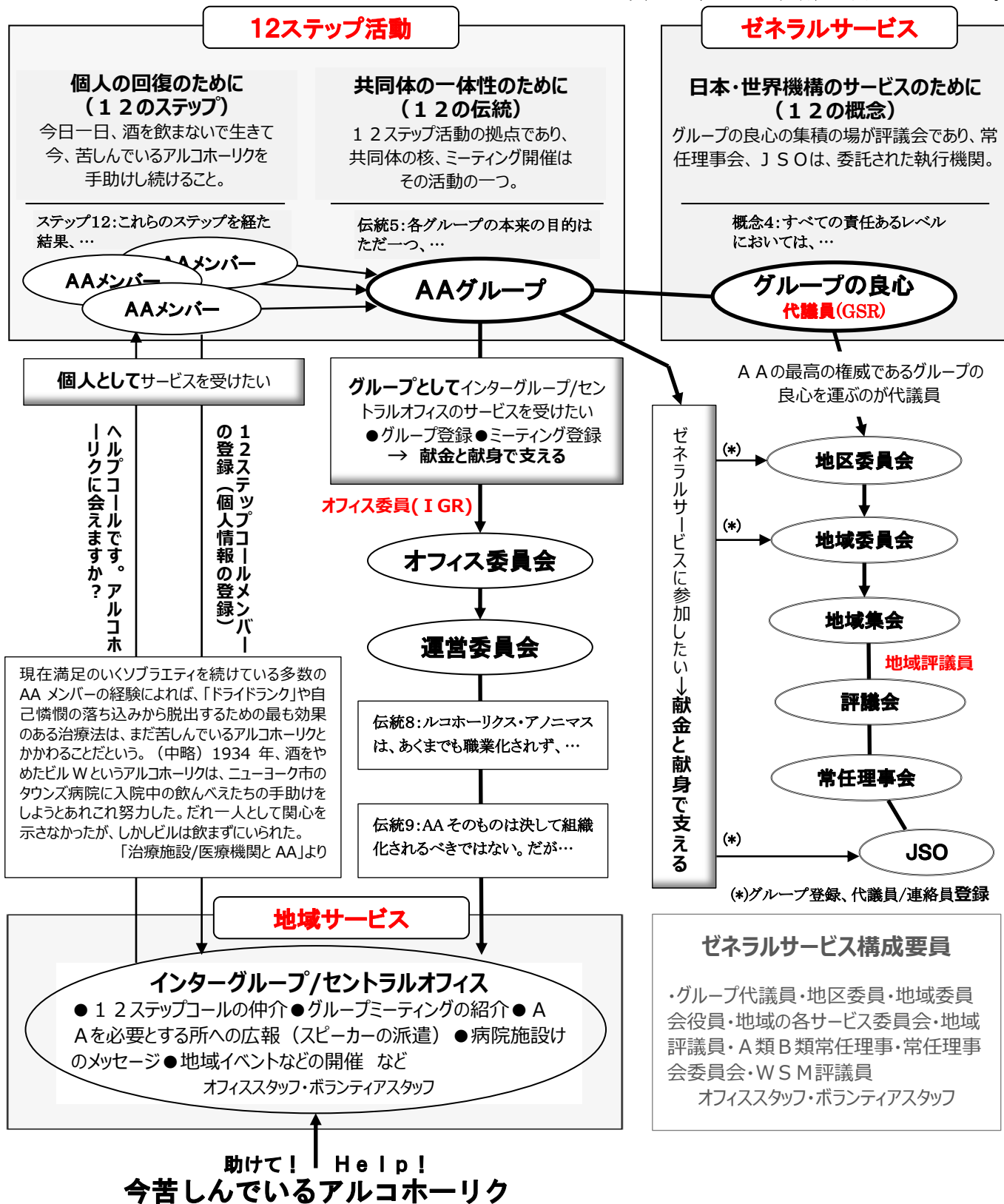
『アルコールクス・アノニマス 成年に達する』を、難しいと感じている方、少し距離を置いている方、如何でしょうか？とても楽しく読むことができます。

どうしても”苦手”と思われる方、まずは第2章からお読みになることをお勧めします。価格は2,940円と少し高めですが、それ以上の価値が間違いなく、あります。



AAの三つのレガシー = 三角形

※ニューズレター92号(2002年2月20日発行)の3頁をリメイクしました。



編集：ニューズレター編集委員会・発行：NPO法人AA日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

http://www.aajapan.org jso-1@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金)10:00～18:00 (土・日・祝) 休